

●奥会津風土体感プログラムとは？

川口高校の1年生を対象とした学習プログラムです。総合的な学習の時間を活用し、講義や体験活動を通して奥会津の歴史や文化、伝統について学んでいきます。講師には大学の先生や地元で活躍しておられる方々などをお招きし、自然豊かな奥会津の文化を体感していく川口高校ならではの特色ある学習となっています。

●具体的にはどのような事を体感するのか？

1学期は講義中心の学習です。奥会津だよりを発行されている奥会津書房さんの協力をいただき、聞き書きについて学んだり、昭和村の文化や産業の目玉であるカスミソウの歴史や栽培について学んだりします。また、日本の固有種であるニホンミツバチの生態について学んだりもします。

2学期は①聞き書き、②地域理解 A、③地域理解 B、④ものづくりの4つのコースに分かれて体験学習を行います。体験学習の内容は漆塗り（螺鈿）、ロウ細工、箸作り、からむし織、こんにゃく作り、赤かぼちゃのドリア作り、編み組細工など様々です。

12月にはそれぞれの班が体感した内容を発表する発表会もあります。体感して終わりではなく、インターネットを利用してさらに詳しく調べたり、発表原稿やスライドを作ったりと大変ではありますが、とても良い経験となっているようです。



<編組細工体験>



<螺鈿塗：生徒作品>



<からむし織体験>

●体験を通して生徒達の反応は？

会津出身でない生徒はもちろん、地元出身の生徒達も体験を楽しみながら、一生懸命取り組んでいます。教員の方も日頃の気づかない生徒の個性や能力を発見できる貴重な活動です。奥会津の伝統文化や特産品についての理解を深め、さらに知りたいという生徒が多く、生徒にとって有意義な活動になっているようです。

今後とも皆様のご協力をいただきながら、学習活動をすすめてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。